

交流と創発の場！

先月号のコラム「団塊耕志録」で言及させて頂いた「チームネクスト」が、準備会という形ではあるが、いよいよ始動した。興奮し、期待しているのは多分私だけであると思うが、新しいタクシー産業を切り開くタクシー事業者の交流と、そこから新しいビジネスモデルが創発される場になる事を心から願っているし、そのためにできる事は何でもして行きたいと密かに(コラムに書くのでは密かにとは言えないけど)思っている。7月9日にチームネク



スト(準)のホームページ(<http://www.team-next.jp/>)

を開設し、チームネクストの設立趣旨や、観点(周囲からは意味不明と指摘されているが...)規約など、いづれもたたき台のつもりで掲載をしている。来年の2月までの三回のプレイベントの中で、登録会員の皆さんの意見を伺いながら、その内容を詰めて行きたいと思っている。

また来年の2月の正式設立までは、お試し会員として登録を自由にして頂き、チームネクストがどのようなものになるか、なっているかを見極めて頂き、最終的な参加を決めて貰おうと思っている。正式

設立後は月額五〇〇〇円の有料会員制となるので、それに値するかどうかしっかり判断して頂くと思う。とはいえ、今現在のホームページでは殆ど内容は白紙の状態で、これから皆さんにお願いをして、ブログやライブラリーなど、ひとつひとつ充実をしていかなければ

清野吉光氏のコラム 第44回

団塊耕志録

清野 吉光(きよの よしみつ) 略歴

1950年 長野県四賀村生まれ、松本深志高校卒業。1968年上智大学外国学部ロシア語科入学、1971年 中退。その後印刷関係など様々な職業に従事。1976年清水市の日の丸交通入社。1980年静岡市内の事務機器センターに入社。1982年システムオリジンを仲間と創業、専務取締役。1992年代表取締役社長就任。2000年(株)タクシーサイト創立、現取締役会長。2007年タクシーアシスト代表取締役社長に新任。現在に至る。



「チームネクスト」 (準備会)を設立!

ればならない。しかし目指すものは「総合生活移動産業」創造という大きなものだし、参加していただく(頂こうと思っっている)事業者様も素晴らしい経営者が多いので、地道にやっつけていけば必ず業界の活性化のお役に立つひとつの場になると信じている。

凄い！SEO!

ところで余談だが、今回7月9日にホームページを開設し、公開して、早速「チームネクスト」で検索したところ、グーグルでは49万件もヒットし、いくらページをめくっても我が「チームネクスト」は一向に出てこない。「チームネクスト&タクシー」で検索しても、本家であるキャビックさんの「チームネクスト」は1ページ目に出てくるが、やはり我々が「チームネクスト」は影も形も無い。49万件もあるのだから新参者の我々が出てこないのは当たり前と思いつつ、フルネームで入力しても出てこないのでは、ちよつと

辛いなと思っっていた。

ところが、本日(21日)改めて「チームネクスト」とグーグルで検索してみると、何とトップページの2番目に表示されているではないか!それではと思っつてヤフーでも検索してみると、トップページの3番目に出ている!凄い!これぞSEO(Search Engine Optimization)と云う奴かと、改めて感服した次第。このホームページはオリジナルのスタッフに無理を言っつて作って貰ったが、彼がいろいろ工夫や技を使っつて、SEOを見事に対応してくれた。そう言えば、弊社の子会社である株式会社タクシーサイトが運営するタクシー専門のポータルサイト、タクシーサイトもグーグル、ヤフー、マイクロソフトで「タクシー」というキーワードで検索すると、トップページの1番目に来る。アクセス数が月間60万人を超えるという実績もあるのかもしれないが、SEO対策という点でのノウハウも生きているのかも知れない(このへん、実は唯の自慢の羅

列になっているかも…)

地域密着型サービス 定期巡回随時対応型 訪問介護看護の 全国的普及！

ところで、ホームページにも掲載されている「チームネクス」の「観点」の中に「地域密着型サービス定期巡回随時対応型訪問介護看護の全国的普及」という一文がある。これは当初「24時間緊急駆けつけサービスの普及」と書かれていたものだ。前回のコラムにもそのように書かれているが、この「観点」について、ホームページ公開に当たって皆さんに御意見を伺いしたところ、つばめ自動車の天野社長からご提案があり、「地域密着型サービス定期巡回随時対応型訪問介護看護の全国的普及」という内容に替えさせて（というより発展させ

観点

- ・理念（思い）を顕明する。
- ・タクシー産業の生活支援産業への転換を推進する。
- ・地域密着型サービス定期巡回随時対応型訪問介護看護の全国的普及、ネットワーク化を図る。
- ・働く人の自覚性と成長が運動力という観点を大事にする。
- ・地方が主導という観点を大事にする。
- ・世界的視野を大事にする。

その中で「定期巡回随時対応型訪問介護」が趨勢となる。そしてそれを担う介護事業者の一番のネックは移動の問題であり、タクシー事業者の持つインフラはそれを解決する可能性を一番持っている。さらにそれを一歩進めて「看護」の世界を「連携」という形でク

て）頂いた。正直なところ自分にはこう替える事の意味をよく消化できてはいないのだが、この意味する事はかなり凄いならしい。

実は本日キャビック様で兼元社長と8月31日に行う第一回の福祉・介護セミナー合宿の事前打ち合わせを行い、そこで当日外部講師をつとめる介護事業コンサルタンの駒居さんと兼元社長とのやり取りの中で聞きかじった事である。国の介護事業に関わる方針が、財政状況の問題もあり「施設」から「在宅」を基本にする動きがあり、

リアーできれば「素晴らしい！」世界ができるとの事。とりわけ「自由で気軽な移動」を伴わない「在宅」は、必ず痴呆症状や身体能力を劣化させる。高齢化社会の中で移動の保証は決定的に大事であり、逆に24時間の移動手段と無線通信設備を持つタクシー事業者が、資格とホスピタリティと「看護」施設と連携を持つ事により、その高齢者と介護対象者にとって「素晴らしい世界」を作り出せる最短距離にいるらしい。また乗務員さん自身も利用者との深い交流を通じて、強いやりがいや生きがいを感じ、大きな意識改革をもたらすらしい。この辺は全部受け売りで、きつと多分そのとおりだと思うが、是非キャビックさんでのセミナー合宿に参加されて、確かめて欲しいと思う。

つばめ自動車の天野社長が「24時間緊急駆けつけサービス」から「地域密着型サービス定期巡回随時対応型訪問介護看護の全国的普及」と敢えて指摘、提案なさったのは、チームネクス

（まだ確かめてありませんが）旧来型のタクシー需要が減る中で、高齢化社会の進展の中で世の為、人の為に役に立ち、乗務員さんの雇用を量的に守るだけではなく、その士気とやりがいを担保する雇用の質を守るためにも、タクシー業界の新しい戦略的戦域の一つとして困難ではあるが、挑戦しなくてはならないと思う。

イベント申込みを！

という事で、結局宣伝であるが8月31日のキャビック様での福祉・介護のセミナー、現場見学&懇親会（川床貴船！）&宿泊（リノホテル京都）に御参加下さい！詳しくはホームページ検索！

（2012年7月21日記）



トがその高みまで目指すネットワークであつて欲しいという事ではないかと思う

お客様の「ありがとう！」が、毎日の活力です！

タクチャージで

売上
やりがい
コミュニケーション
サービス
イメージ

UP!!

「売上UP」の秘密は、ドライバーさんの「やりがいUP」！タクチャージは、タクシー産業の発展と乗務員さんとの実情に合わせたサービスです。ドライバーさんとお客様との気持ちよいコミュニケーションツールとして立ちます。お客様に感謝される事で、ドライバーさんのやりがい度もアップ。タクチャージであなたのイメージもアップ。タクチャージであなたのイメージもアップ。タクチャージであなたのイメージもアップ。

タクシー車内
充電OK! TAXCHARGE

対応機種

1. docomo-FOMA/SoftBank-3G
2. auCDMA/au-WIN
3. Ipad, iPhone-3G/4G, iPod (第五世代、classic), iPodtouch, nano
4. その他microUSBを使用するゲーム機、デジタルカメラ、携帯型小型PC等

(販売元)
株式会社システムオリジン
03-3834-8352